



学校生活や
授業風景は
←こちら

1年生 授業『こどもの保健演習』 姉妹保育園で初めてのふれあい

入学して初めての姉妹保育園での連携授業。
クラスに入り、保育園の1日を体験しました。



はじめは緊張してなかなか動き出せませんでしたが、子どもたちが「あそぼう！」と声をかけてくれたり、一緒にお話しているうちに自然と笑顔になれました。保育士の仕事の大変さと、子どもたちの可愛さを肌で感じる事が出来ました。

保育園の生活を1日体験して、保育士になりたい気持ちが強くなりました！そして『やっぱり子どもが好き！』と、実感しました！これからも実践を通して沢山学んでいきたいです！



「おにいさんせんせい～！」と、男子学生も大人気でした★

2年生 施設実習での貴重な体験を教えてくださいました



保育未来学科2年生
日誌 倅穂さん

【施設に対しての考え方が変わりました！】

障がいのある方とかかわったことも無ければ、障がいに対する知識も少なかったので実習に対して不安や『怖い』というイメージがありました。しかし、利用者の皆さんが優しく、あたたかくて怖いというイメージは一切無くなり、実習を終えた今、『楽しかった！』と、感じています。

大変だったことは言葉を使ってコミュニケーションをとることが難しい方とのかかわりです。色々な角度から考え、その方の訴えを読み取ることが大変でした。

楽しかったことは実習期間全てです！毎日利用者として少しずつ距離を縮め、名前を呼んで下さったときの嬉しさや、達成感がありました。同じ障がいの方でも、それぞれ好きなことや苦手なこと、得意不得意は異なります。そのため、一人ひとりにあった支援が必要なことや注意しなければいけないことが全く違うこと、その方のペースに合わせた支援が大切だということを知りました。

子どもとかかわる上でも、一人ひとりをよく観察し理解し、その子にあった保育を行うことが大切だと思うので、今回学んだことをこれから現場に出た時に活かしていきたいです。そして大変な中、実習を受け入れて下さった施設職員の皆様方、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。心からお礼申し上げます。

保育園実習に向けた制作グッズを紹介！

クイズや自己紹介に使います！



角田愛純さん



渡辺美空さん

スケッチブックシアターを子どもたちの前でやるのが楽しみです★

【後期予定】

- 保育実習II 10月上旬(2年生)
- 保育実習I 1月下旬(1年生)
- 感性を磨く！気づきを育む！
タッチレッスン♪
- ♪幼稚園見学
- ♪真駒内養護学校見学
- ♪芸術鑑賞
- ♪円山動物園見学
- ♪えりっこ人形劇観劇
- ♪こどもの視覚障害
- ♪こどもの応急処置
- ♪子育て支援活動
- ♪クリスマスコンサートなど

吉福新聞 ～私たちの学び舎～

ごあいさつ



専門学校
北海道福祉・保育大学校
校長 河原 範毅

2021年度も半分が過ぎました。コロナに振り回された昨年の思いから、学生・教職員ともに今年にかけの期待や望みは大きなものがありましたが、「あれよあれよ」という間に感染爆発の事態となり、今なお制約・制限が課される厳しい状況が続いています。特に、貴重な経験と新しい学びを得る学外実習の期間短縮や学内での振替は痛手でしたが、そうした中でも実習報告会の発表は素晴らしく、思わずうなる場面が多々ありました。また、この状況下で学外実習に行くことが果たして妥当なのか、賛否が分かれる難問に向き合い真剣に話し合う学生たちもいました。

感染拡大に関しては、ややもすると若者の安易な考え・行動が指摘されがちですが、学生のこうした真摯な姿勢を見ると「日本の未来もそう捨てたもんじゃない」と強く感じています。

残念ながらコロナ禍はまだ続きそうですが、教員一丸となって学生の未来づくりに力を尽くしてまいりますので今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

対面 + オンライン 授業

吉田学園では、ICT教育の推進に取り組んでいます。コロナ禍でのリモート授業に加え、より深い学びの為にツールとして、次世代の新しい教育の形を目指しています。



リモートで制作発表や絵本読み、手遊びなどを行っています！
マスクを取って授業ができるので、みんなの表情が伝わります★

コロナ禍で開催できなかった同窓会。でも遠方の卒業生とつながることができ、よりたくさんの卒業生と話がすることができました！
みんな元気そうで安心しました！

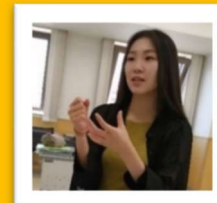


介護・社会・保育

吉田 手話サークル

手話で心が伝わる瞬間が嬉しいです

手話サークル立ち上げから3年目部長の柳原朱李さんに手話の魅力インタビュー！



社会福祉学科3年
柳原朱李さん

Q:手話サークルに参加したきっかけは？

A:以前から手話には興味を持っていました。1年生の時にアルバイト先に聴覚障害の方が来て、筆記で伝えたのですが、本当に伝わっていたのか心配した経験がありました。そんな中、学校で手話サークルを立ち上げる話があり、やるからには卒業まで頑張りたいたいと思って1年生でしたが、部長に立候補しました。

Q:手話を使った経験はありますか？

A:先日、アルバイト中にお客さんが、「聞こえない」と手話で教えてくれたのが理解できたんです。その後は、欲しいものを手話と指文字を使って確認することができ、お客さんからも手話で「ありがとう」と言ってもらえました。手話を勉強してきてよかったと感じた瞬間でした。

Q:どんなサークルにしたいですか？

A:毎年、新しいメンバーが入るため、基礎的な手話を学ぶ活動が多くなってしまっていますが、日常生活の中で使えたり、こんな時はどうしたらいいのかなど、場面に合わせた手話を学べるような機会も作ってほしいです。また、先生からもICTを活用した手話通訳の機械が作られていることを聞いて、そのようなものに触れる機会も作れたらと思っています。

介護福祉学科

1年生 行事の企画や運営のシミュレーション体験『外出レク』

車いすで中島公園散策に行ってきました！

マンホールや点字ブロックをできるだけ避けて、段差を超える際などは細やかな声掛けがあると不安が軽減されることが分かりました。 荻原緑里さん

車が止まっていて、どうやって進むかなど考えながら介護をする場面がありました。事前に調べて準備することの必要性を学びました。 長野礼菜さん

車いすで外出すると、思っていた以上に揺れを感じたり、ぶつからないかなどと相手の気持ちを感じることが学びでした。 グエン ティトゥオンさん



車いすに座り実際に利用者の体験をすることで、小さな段差や周りの通行者、自転車などが怖く感じることができました。介護者になった際には、そのような時にも声をかけていくことが大切だと思いました。 菅原大輝さん

車いすに乗って地下鉄の切符を購入したりすることで、気持ちを体験することができました。エレベーターを譲ってくれたり、留学生として札幌の人の優しさに本当に感動しました。 羅超さん

学校から街中へ！



地下鉄も！



2年生 初めての学外実習にて個別ケアの大切さを実感できました。



介護福祉学科2年生
杉田 陽菜さん

現場実習に行って真っ先に実感したのは支援技術の違いです。学校の授業で友達がモデルになりズボンの上げ下げなども練習していましたが、実際に行ってみると汗をかいていてズボンが上がりにくかったり、本当の生活の中だからこそ必要な配慮を学ぶことができました。

実習中は一人ひとりと関わる時間に制限を設けるなど、実習内容もコロナ感染対策に配慮するためできないこともありました。職員の皆さんから、「何でも聞いてね」と、声をかけてもらえて、本当に支えて頂きました。実習当初はコミュニケーションがうまくできず悩むこともありましたが、職員さんや利用者さんから話しかけてもらい、成長を褒めてもらったことが自信になり、最後まで頑張ることができました。

実習では一人の方に必要な介護が何かを考え、実践させて頂きました。本当に求めていることは何かと考えるのは苦労しましたが、楽しく生きたいという思いをくみ取り、コロナ禍で実際に買い物に行くのは難しい方も、一緒に衣類のチラシを見てみたところ、とても楽しんでもらえました。職員さんや一緒に実習に行った友達からも本当に楽しそうだったねと評価してもらえて、あらためて個別ケアとは何かを実感することができた実習でした。

今回の実習で学んだことを忘れずに、クラスみんなと国家試験に向けた勉強に取り組み、絶対全員で合格をしたいと思っています。

学校の様子を日々更新しています！



Instagram 公式



保育



YouTube



Twitter



進学相談 LINE

社会福祉学科

面接練習



精神保健福祉援助実習 令和3年6月

社会福祉学科4年生 最後の実習

学内実習となってしまいましたが、通常の実習では経験できないことを幅広く学ぶことができました。

実習前は、就職直前の実習、最後の実習なのに現場を見ることができないことに不安がありました。しかし、通常であれば1ヶ所での実習のところ、今回はこりか・プロダクション、札幌市精神障害者家族連合会、実習指導者の方々などの協力により、様々な機関について、幅広く学ぶことができました。この学びから、改めて精神保健福祉士の魅力や、自分の将来についても考えることができました。また、グループワークでは、最後の実習ということで、今までの学びを活かし、クラスメイト全員がそれぞれ自分の意見をもちながら、他の人の意見も吸収したり、協力し、お互い高め合いながら実習を行うことができたと思います。

コロナウィルス感染症への不安もありましたが、この状況だからこそ学べたことも多くあり、貴重な経験をすることができました。そのため、このような経験をさせてくださった、各機関の方々、クラスメイト、先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を活かし、これからも頑張っていきたいと思います。 (社会福祉学科4年 茶木寿美)

姉妹校連携授業「医療的ケア1」 令和3年8月(吉田学園医療歯科専門学校にて)

その方の小さな異変を見逃さず、医療職と連携することの大切さを学びました。



姉妹校の吉田学園医療歯科専門学校・臨床工学科で、人工呼吸器について学びました。実際に人工呼吸器に触れ、回路を組み立てたり、設定を変えてみたり、装着している想定で、シミュレーターの喀痰吸引を行いました。人工呼吸器を設定する時には、1回の換気量、呼吸回数、吸気・呼気比率、酸素濃度を設定しますが、その設定を間違えてしまうと、呼吸が苦しく辛くなるので、一つひとつ細かな、その方に適した設定が大切で、命に関わることを知りました。喀痰吸引は、人工呼吸器に繋がれていない時間に行うため、出来るだけ時間をかけずに素早く安全に行うことが大切だと学びました。 (社会福祉学科3年 湯浅あゆ)

介護福祉学科・社会福祉学科

<実習予定>

・10月27日～11月24日

介護福祉実習Ⅰ
(介護・社会1年生)

・1月17日～2月3日

精神保健福祉援助実習
(社会3年生)

<国家試験>

全員合格を目指して、試験対策頑張っています！！

・1月30日

介護福祉士国家試験
(介護2年生、社会4年生)

・2月5日、6日

社会福祉士・精神保健福祉士
国家試験(社会4年生)